



長浜小だより

浜田市立長浜小学校 令和2年10月13日発行

校長 濱崎 政寿 10月号

【教育目標】：自立と共生を旨とし、豊かな心と確かな学力を持ち、健康で明るくたくましい児童の育成

秋空のもとで運動会

9月になっても暑い日が続いていましたが、9月19日（土）の運動会当日は秋らしい絶好の運動会びよりとなりました。鼓笛の音楽、練習のホイッスルなど、校長室に届くいろいろな音を聴きながら、練習している児童の様子を見ていました。その表情は真剣で、汗が光って見えました。



長浜っ子のよいところは、ひたむきに物事に取り組むところです。多くの保護者の方々の前で堂々の走りや演技を披露し、練習や日頃の学習の成果を十分に発揮することができました。

最後まで輝ける運動会

今年は入場前の「密」を避けるために、入場行進はせずに、入場した状態から開会式を始めました。開催時間を短くするために種目を厳選し、80M競走・100M競走・学年団体種目・応援合戦・鼓笛パレード・色別リレーを実施しました。



短い練習期間、様々な制約がある中での練習でしたが、児童の精一杯の競技や演技をご覧いただくことができました。児童会スローガン「最後まで笑顔で輝ける運動会」を達成できたように思います。

工夫した運営

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運動会運営面で工夫や変更をしました。

参観の方々には、応援場所でシートを敷いて応援するのではなく、関係するお子さんの競技のときだけ、前方に移動して応援していただくようにしました。

競技面では、「密」を避け、開催時間を短縮するために、PTA競技や親子競技、児童の綱引きなどを実施しないこととしました。

児童は、昼食の弁当を保護者の方々と別々に教室で食べました。これは、熱中症予防のためでもあります。保護者の方々には体育館と校庭を開放しました。



例年とは違う運動会でしたが、児童にとって思い出に残る運動会になったことと思います。お忙しい中、ご参観いただきました保護者の皆様方、地域の皆様方、ありがとうございました。また、感染予防のための運営上の様々な変更や工夫にご理解とご協力をいただきましたことに衷心からお礼申し上げます。

日々のマスク着用や手指消毒を続けながら新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を祈るばかりです。

マスクの着用

夏季の登下校時、気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。このため、気温・湿度が高い場合、登下校の途中でマスクを外してよいことにしていますが、すっかり秋らしくなってきましたので、マスクを着用するように指導しています。

校内生活では、引き続いて原則としてマスクを着用して学習や生活をします。今後も自宅を出発するときにマスクを必ず着用させるようにしてください。

なお、児童は体育の時間や昼休みに外で遊ぶ場合、屋外での校外活動などではマスクを外して活動しています。様々な感染防止策を講じながら教育活動を実施していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

＜参考 新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル＞

【9/3 文部科学省】

○マスクの着用について

児童生徒等及び教職員は、身体的距離が十分とれないときはマスクを着用するべきと考えられる。ただし、次の場合はマスクを着用する必要はない。

- ・十分な身体的距離が保てる場合。
- ・熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合。
- ・体育の授業。

宿泊研修（5年生）

5年生が9月29日（火）～30日（水）に県立少年自然の家で宿泊研修をしました。自然の中で家族と離れ、友達と協力し、いろいろなことに挑戦し、体と心を鍛えることなどを目的としています。キーワードは、「自立」、「仲間」、「マナー」です。



主な活動は、【1日目】やぐらづくり・キャンドルの集い、【2日目】やぐら解体・炊飯活動・冒険の森探検です。屋外の活動を中心に、大自然の中で、しっかり体を動かし、寝食を共にすることによって、友だちとの関係を深めることのできた2日間だったと思います。

学校に帰ってから、宿泊研修を振り返り、学校生活に生かせることを班で話し合い、学級のみinnで共有しました。



校内スケッチ会



「五感を使い、イメージを膨らませながら絵を描く」ことなどを目的に、校内スケッチ会を10月5日（月）に実施しました。

1・2年生は「遠足」、4年生は「校内」を題材に絵を描きました。5・6年生は「熱田神社」、「訂心寺」、

「長浜天満宮」に出かけてそれぞれの建物を中心にスケッチをしました。5・6年生は屋外での学習でした。描きたいものをすぐに決めて集中して取り組む児童、対象を決めるまでに少し時間はかかるけれど、その後集中して取り組む児童、友達と相談しながら取り組む児童など、タイプは様々です。素敵な作品が出来上がりました。

3年生は、12日（月）に校外に出かけて重機をスケッチしました。

今回の校内スケッチ会での作品も含め、これまでの作品の中から浜田市学童図画展に出品します。入賞作品は、浜田市世界こども美術館に展示されます。



余話

秋の運動会が終わりました。5年生は県立少年自然の家で宿泊研修を終えました。いずれの行事も新型コロナウイルス感染症が収束しない中での実施でしたので、感染予防策を講じての実施でした。

少子化や社会状況の変化により、子どもたちが集団で活動することが少なくなっています。運動会の練習や準備、そして当日の活動を通して、集団で活動することの楽しさ、協力することの大切さを大いに学ぶことができたと思います。5年生の宿泊研修も同様です。

「非認知能力」という聞きなれない言葉を最近耳にするようになりました。教育専門家の多くが、「この能力こそが大切だ!」と力説しています。

「非認知能力」とは、読み・書き・計算のように数値ではかることのできる学力とは違った、心や社会性に関する力のことです。さかんにこの「非認知能力」の重要性を示す研究結果が出始めているのです。それらの研究によれば、「非認知能力」を身につけたことの成果は、すぐに表れるのではなく、少しあとなって見えてくるというので、「あと伸びする力」などとも呼ばれます。まさに運動会や宿泊研修を通してこの「非認知能力」を高めることができたと思います。今月末には、6年生の修学旅行も予定されています。

読み・書き・計算のように数値ではかることのできる学力（「認知能力」）はもちろん、その基盤となる心や社会性に関する力（「非認知能力」）を今後も様々な教育活動を通して培っていききたいと思います。

ご家庭や地域において、子どもたちに関わっていただくことによって日々子どもたちの心や社会性は育っています。今後とも家庭生活、地域での生活全てが学びの場であるにとらえ、子どもたちに関わっていただきますようよろしくお願いいたします。

11月の行事

- 1日（日） しまね教育の日
- 3日（火） 文化の日
- 5日（水） 就学時検診
- 17日（火） お話プレゼント
- 21日（土） 参観日
- 23日（月） 勤労感謝の日
- 24日（火） 振替休業日

